

# しろやま

【学校教育目標】 学校HP QRコード→  
ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子供の育成



御船小学校 学校便り

令和6年1月9日（火）  
文責：校長 濱本竜一郎

能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。

平成28年熊本地震の際に、たくさんの支援をいただいた私たち御船小にできることはないか、子供たちと共に考えていきます。

## 謹賀新年

いよいよ新年の幕開けです。今年は辰年です。辰にちなんで、

**「竜が水を得たる如し」**ということわざがあります

す。意味は、「何かや誰かが適切な状況や条件に出会った際に、本来の力を十全に発揮して著しく成功する」ことだそうです。

竜は水を手に入れることでそのポテンシャルを最大限に引き出し、空に舞い上がるといわれています。同様に、人や物事も最良の環境や条件に恵まれた時、その能力をフルに活かして成功を収めることができるという意味が込められているそうです。

御船小も、こうありたいと思っています。そのためにも、学校だけではなく、保護者の皆様、そして、地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っています。今年も「御船小でよかった」「御船小が大好き」と言える学校を目指してまいります。お力添えの程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 名文暗記～御船小「国語化計画」実行中～

本校では、名文暗記に取り組んでいます。語彙の質と量を増やすこと、そして、記憶するという脳の機能を活性化するために取り組んでいます。

12月は、夏目漱石の「坊ちゃん」の冒頭でした。暗記した子供は、校長か教頭先生のいずれかの前で暗唱し、スムーズに言えたら、お宝シールを一枚もらいました。約1カ月で85人の子供たちが暗記しました。

現在、御船町出身の歌人・河野裕子さんの俳句「たっぴりと 真水（まみず）を抱（いだ）きてしづもれる 昏（くら）き器（うつわ）を近江（おう

み）と言へり」に挑戦中です。この俳句は、御船町役場の一角にある歌碑に刻まれています。御船小の子供たちが、この俳句を諳んじて言えるようになるとうれしいです。応援の程、よろしくお願い申し上げます。

坊ちゃん	夏目 漱石
親ゆずりの無鉄砲で、こども の時から、損ばかりしてい る。	
小学校にいる時分、 学校の二階から飛び降りて、 一週間ほどこしをぬかしたこ とがある。	
なぜそんなむやみをしたと、 きくひとがあるかも知れぬ。 別段深い理由でもない。	